

【全国発信記事】 関東地方支部

南極海での目視調査を終了・「第二勇新丸」塩釜港へ帰港

3月21日、共同船舶株式会社所有船舶「第二勇新丸」が南極海鯨類資源調査（JASS—A）目視調査を終了し、塩釜港に入港した

入港当日は長期調査における乗組員を労うような快晴。

今回の目視調査は、昨年12月3日に塩釜港を出港し、109日間をかけて、オーストラリア南側の南極海でミンククジラやシロナガスクジラなどの目視調査を行った。

今回の調査では、今まで調査ができなかった海氷海域において、ドローンによる試験調査を初めて試み、無事に調査を終えることができた。

入港した第二勇新丸の乗組員から「今回の調査期間では、全乗組員に怪我は無く、南極海では氷が少なかったため調査が順調に終了し、予定通りの行程で無事に帰港することができたことはよかった」との声が聞かれた。

本船入港時、家族や関係者から温かい笑顔で迎えられ、乗組員の表情が自然と和らいだ。第二勇新丸および乗組員は、翌日よりドックに入り次の調査に向けて準備に入った。

「海員だより」